



MURAKAZA NEZA MU RWANDA

Vol.4

(Welcome to Rwanda)

JICA海外協力隊（2022年度1次隊）
ルワンダ共和国 ソゴマ郡 ムラマセクター配属
コミュニティ開発 水の防衛隊
五十嵐貴昭

目次



※自宅の外観

1
水質検査実施

2
水質の安全性を村人へ共有

3
新たな村で井戸修理啓発

1. 水質検査実施



※井戸修理直後の水

長年使用されていなかった井戸は、飲料水として適しているか判断するために、水質検査を実施します。検査項目は以下の通りです。

• pH	水素イオン濃度
• Residual chlorine	残留塩素
• Ammonium-nitrogen	アンモニウム態窒素
• Nitrate-Nitrogen	硝酸態窒素
• Iron	鉄
• Flouride	フッ素
• COD	濁度・色度
• Manganese	マンガン
• E.coli	大腸菌

故障により、この井戸は約1年間使用されていなかったため、修理直後の水質は劣悪でした（濁りが酷く飲料水とは認められない）。よって、毎水を汲み溜まった汚れの改善を図ります。通常1週間程で改善すると言われていたのですが、2週間経過したにもかかわらず、濁りの改善は見られませんでした。「このまま改善されない…？」と大きな不安を感じていましたが、約1カ月の期間を経て濁りのない水へ改善しました。

2. 水質の安全性を村人へ共有

水質の改善後は、なるべく安心して井戸を使用していただけるように、村会議内で再度検査を実施し、飲料水として問題がないことを村人に周知します。



※水質検査実施



※村会議にて水質が改善したことを周知

3. 新たな村で井戸修理啓発

続いてはムラマセクター内の新たな村で、井戸修理の必要性について協議しました。

この村には井戸が2基設置されていますが、1基は故障しています。住民は、稼働中の井戸1基のみで生活しているとのこと。3年間故障しているため、井戸周辺の住民は遠方の井戸から水を汲む生活に慣れてしています。井戸を修理することで、井戸周辺に住む人達は片道約30分の時間を節約できますが、修理を実施する場合、各住民は修理費用を支払う必要があるため「お金を払わず現状維持の生活」か「お金を支払い修理する」か、この意思決定は住民に任せました。

住民の希望は井戸修理を実施するとのこと。よって、井戸修理に必要な代金を徴収するため、村長・水委員会を中心に集金していただくことになりました。幸いにも、この村には水委員会が存続していたので、委員会作成の手順を省略し、即座に集金を開始していただきました。

なるべく早く、集金されることを祈ります。



※村会議にて井戸修理啓発



※井戸修理技術者から修理パーツ代金の説明